

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
セントライト記念	別定	GII	中山	芝2200m	良想定	消耗	順当	C

※文字色の意味

2018/9/17

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ペース	総合	人気	印	結果	大駆け
1	ギベオン	戸崎圭	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	ゴーストザッパー	ヴァイスリージェント	A	B	B	D	C	B	2	△1		2
2	グレイル	岩田	ハーツクライ	サンデーサイレンス	ロケットジブ	ダンジグ	B	B	C	B	C	B	8	△3		8
3	ショウナンラーゼン	吉田準	キングカメハメハ	キングマンボ	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	C	D	E	C	E	E	15	消		15
4	ジェネラーレウーノ	田辺	スクリーンヒーロー	ロベルト	ロケットジブ	ダンジグ	A	B	B	C	B	B	5	☆		5
5	ゴズミックフォース	石橋脩	キングカメハメハ	キングマンボ	ネオユニヴァース	サンデーサイレンス	B	B	B	B	C	B	3	△2		3
6	ゼーゲン	大野	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	モンズーン	ブランドフォード	A	B	C	D	C	C	9	△4		9
7	ブレステイキング	Mデムーロ	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	メジシアン	ミッドブ	A	A	B	D	B	B	4	▲		4
8	メイショウロセツ	田中勝	ノヴェリスト	ブランドフォード	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	C	C	D	D	D	D	14	消		14
9	タニノフランケル	幸	フランケル	ティンヒル	タニノギムレット	ロベルト	C	C	C	C	E	D	6	消		6
10	トラストケンシン	三浦	ハーツクライ	サンデーサイレンス	エルコンドルパサー	キングマンボ	B	B	C	D	B	C	12	△5		12
11	ケイティクレーバー	小林	ハービンジャー	ティンヒル	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	B	C	C	C	E	D	10	消		10
12	レイエスブランド	内田博	ハービンジャー	ティンヒル	スペシャルウィーク	サンデーサイレンス	B	C	D	D	E	D	13	消		13
13	ダブルフラット	津村	マンハッタンカフェ	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	B	A	B	C	A	B	7	○		7
14	オウケンムーン	北村宏	オウケンブルースリ	グレイソヴリン	エリシオ	ノーザンダンサー	C	D	C	C	C	D	11	消		11
15	レイエンダ	ルメール	キングカメハメハ	キングマンボ	シンボリクリスエス	ロベルト	B	A	A	C	A	A	1	◎		1

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>セントライト記念の特徴は何と言っても特殊な中山芝2200mで行われると言う事。中山競馬場の中長距離コースで唯一外回りコースを使用するのが中山芝2200mで、上図を見てもわかるように3コーナー部分がフォールストレートのような形状になっているためにスタートが早くなりやすいのがこのコースの特徴。中山競馬場と言うと器用さや先行力が求められると言うイメージだが、このコースに関しては少々不器用でもずっと長く伸び続けられる持久カタイプの馬が走りやすい。</p> <p>と言ってもそんな持久力戦になるためにはしっかりとペースが流れるのが前提で、ここ3年の前半1000m通過は61.1=61.0=61.8とスローペースの流れになっており、中山芝2200mで本来求められるような適性が問われるようなレースになっていない。そんなわけで決め手ある馬や立ち回り上位の馬が権利を獲得している感じがある近年のセントライト記念であるが、今年に関してはジェネラーレウーノ、ケイティクレーバー、タニノフランケルと3頭も同型馬が揃って、なおかつジェネラーレウーノが「ハイペースでも逃げる」と宣言している以上、まず淀みなく流れるペースになる事が濃厚。近年あまり見る事ができなかった地力が問われる超ポテンシャル勝負のセントライト記念になりそうで、素直に長く良い脚が使えて強い馬を買えばいいレースだと思えます。</p> <p>本命は人気必至でもこの馬をGIでこれぐらいのオッズで買えるのは最後と見て◎<b>レイエンダ</b>を信頼する。新馬戦で全兄レイデオロを超えるようなパフォーマンスを披露して一躍注目された馬だったが、膝を骨折して長期休養に。これが他の厩舎であればクラシックに間に合わせるために復帰を急がせてリズムが狂ったかもしれないが、幸いにも馬の成長過程を最も大事にする藤沢和雄厩舎だった事で理想的な成長曲線を描いてついに重賞まで辿り着いた。</p> <p>兄のレイデオロと同じく母父ロベルトの影響を多分に受けた長く良い脚を使ってこそそのタイプだが、兄以上にレースセンスは優秀と見て良さそうで、前走はスタートを決めて先行策も取れましたし、追っ手からの反応速度なども兄以上を思わせる逸材。今回はかなりハイレベルなメンバーが揃った重賞レースだとは思いますが、そんなメンバーが揃っていても前走の松前特別のパフォーマンスは抜け切ったもの。前半1000m=59.8と決してスローペースではなかった展開を好位追走から馬なりで抜け出して圧勝。レースラップを見て最も最後は馬なりだったのに加速ラップで突き抜けており、このラップと時計で駆け抜けておきながらまだ余力があるというのは末恐ろしい。1週速いでこちらの方が馬場が若干良かったとはいえ、この松前特別の走破時計1:59:3は前週の函館記念よりも0.5秒も速い時計。その函館記念よりもラップ構成は優秀ですしこの馬は現時点でも古馬GI勝ち負け、GI好走ぐらいのレベルにはあるだろう。</p>
REVIEW

血統						
<p>ステイゴールド産駒とロベルト系の成績が良い印象。全体的にスタミナ血統の馬が走るのでその点は重視したい。</p>						
適性						
<p>中山芝2200mは3コーナーが美質ないも同然なので、まずロングスタート勝負になる。それを乗り切れるスタミナは必須。</p>						
データ						
<p>○1番人気 (3-2-1-4)          ○前走東京優駿(6-4-3-16)          △重賞・OP特別で3着以下(0-0-2-25) ※日本ダービーまたは古馬との重賞除く          ×前走OP特別(0-0-0-10)          ×前走1700m以下または前走2500m以上(0-0-0-17)          ×前走2000m(0-3-0-44) 0.0% 6.4% 6.4%</p>						
ペース						
<p>ジェネラーレウーノが逃げてそれをタニノフランケル、ケイティクレーバーが追いかける展開。まず淀みないミドル〜ハイペースになるはずで、相当な持久力が要求されるはずだ。</p>						
危険な馬						
<p>タニノフランケル=前走は自分のペースでかなり楽な逃げが打てたのが勝因。今回はジェネラーレウーノが逃げそうですし、前走とは比べ物にならないぐらいのハイレベル戦に。自分の形に持ち込めないここは厳しそうだ。</p>						
妙味大な馬						
<p>レイエンダ=無理せず馬の成長にあわせて使われたおかげで一戦ごとに前進が凄まじい。前走はスタートを決めてミドルペースを番手追走から馬なりで加速ラップで突き抜けた。前週の函館記念を楽々と上回る時計ですし、もうこの馬は古馬GIでも活躍できる器だろう。</p>						
穴馬						
<p>ダブルフラット=休養を挟んでのここ2戦の内容は圧巻。前走の阿賀野川特別は内枠で揉まれる形で道中ペース緩んで決め手を問われて負けただけで勝ち馬も重賞級。燕特別はハイペースを追いかけて圧巻の競馬で今回も同じようなレースになりそう。外枠もベスト。</p>						
<table border="1"> <tr> <th>タイム</th> <th>上3F</th> <th>下3F</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	タイム	上3F	下3F			
タイム	上3F	下3F				
ラップタイム						
<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						

Copyright (C) 2014 - KAZ  
 All Rights Reserved.  
 本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

